

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年6月27日(2022.6.27)

【公開番号】特開2021-16438(P2021-16438A)

【公開日】令和3年2月15日(2021.2.15)

【年通号数】公開・登録公報2021-007

【出願番号】特願2019-132324(P2019-132324)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 1 1 A

A 6 3 F 5/04 6 5 1

【手続補正書】

【提出日】令和4年6月17日(2022.6.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定のエラー状態となる場合を有し、

特定のエラー状態となる場合を有し、

遊技履歴情報を表示可能な所定の表示手段を有し、

電源断処理において、所定の記憶手段に記憶されている情報に基づいて、誤り検出情報を生成して記憶可能とし、

前記所定のエラー状態において、電源の供給が遮断される事象が発生した場合には、電源断処理を実行可能に構成され、

前記特定のエラー状態において、電源の供給が遮断される事象が発生した場合には、電源断処理を実行しないように構成されており、

前記所定の表示手段は、第1の表示部、第2の表示部、第3の表示部、及び第4の表示部を有し、

第1の表示部には、D Pセグメントを含む複数のセグメントを有し、

第2の表示部には、D Pセグメントを含む複数のセグメントを有し、

第3の表示部には、D Pセグメントを含む複数のセグメントを有し、

第4の表示部には、D Pセグメントを含む複数のセグメントを有し、

設定変更を伴う電源投入を行うと、前記所定の表示手段の第1の表示部、第2の表示部、

第3の表示部、及び第4の表示部が有する複数のセグメントの全てを点灯した後に、遊技履歴情報を表示可能とする

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本発明は、以下の解決手段によって上述の課題を解決する（かっこ書きで、対応する実施形態の構成を示す。）。

40

50

本発明（第41実施形態）は、

所定のエラー状態（復帰可能エラー状態）となる場合を有し、

特定のエラー状態（復帰不可能エラー状態）となる場合を有し、

遊技履歴情報（指示込役物比率、連続役物比率、役物比率等）を表示可能な所定の表示手段（役比モニタ、比率表示器、又は管理情報表示LED74）を有し、

電源断処理（図360の電源断処理（I\_POWER\_DOWN））において、所定の記憶手段（RWM53の使用領域のアドレス「F000（H）」～「F1FF（H）」、及び使用領域外のアドレス「F210（H）」～「F3FF（H）」）に記憶されている情報に基づいて、誤り検出情報（RWMチェックサムデータ）を生成して記憶可能とし、

前記所定のエラー状態において、電源の供給が遮断（電源がオフに）される事象が発生した場合には、電源断処理を実行可能に構成され、10

前記特定のエラー状態において、電源の供給が遮断される事象が発生した場合には、電源断処理を実行しないように構成されており、

前記所定の表示手段は、第1の表示部（デジット6）、第2の表示部（デジット7）、第3の表示部（デジット8）、及び第4の表示部（デジット9）を有し、

第1の表示部には、DPセグメントを含む複数のセグメント（セグメントA～G及びP）を有し、

第2の表示部には、DPセグメントを含む複数のセグメント（セグメントA～G及びP）を有し、

第3の表示部には、DPセグメントを含む複数のセグメント（セグメントA～G及びP）を有し、20

第4の表示部には、DPセグメントを含む複数のセグメント（セグメントA～G及びP）を有し、

設定変更を伴う電源投入を行うと、前記所定の表示手段の第1の表示部、第2の表示部、第3の表示部、及び第4の表示部が有する複数のセグメントの全てを点灯（「8.8.8.8」を表示）した後に、遊技履歴情報を表示可能とする  
ことを特徴とする。

30

20

30

40

50